

令和4年第12回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和4年12月21日（水）
午後1時30分から午後2時17分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者	教 育 長	滝 嶋 正 司
	教育長職務代理者	吉 川 明 彦
	委 員	橋 本 秀 樹
	委 員	宮 崎 英 子
	委 員	安河内 由 香

欠 席 者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	内 藤 光 重	次長兼教育総務課長	關 根 浩 由
社会教育課長	石 井 巳代子	スポーツ振興課長	奥 富 喜 和
学校教育部長	田 中 義 久	次長兼教育指導課長	宇佐見 昌 義
学 務 課 長	中 山 昭 夫	入間川学校給食センター所長	小 巖 聖 明
書 記	上 村 理 恵		

会議の公開・非公開 公 開

傍 聴 者 数 0 名

報告事項

- ・ 令和4年第4回狭山市議会定例会の概要について

報告者（生涯学習部長）
（学校教育部長）

（要旨）

会期は、11月24日（木）から12月12日（月）までの19日間であり、議案は、人事1件、新規条例1件、一部改正条例8件、指定管理3件、補正予算1件、市道廃止1件の合計15件である。

一般質問については、16名の通告があり、うち教育委員会関係は3名であった。笹本英輔議員からは図書館、学力、校則について、高橋ブラクソン久美子議員からは貧困（就学援助）について、西塚和音議員からは地域文化の醸成と憩いの場づくりについて、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

- ・令和4年度博物館秋期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和4年度秋期企画展「富田伊織作品展 新世界『透明標本』」は、9月23日（金）から11月27日（日）までの全59日間開催され、11,215人の入館があった。狭山市出身の透明標本作家富田伊織氏による作品展であり、透明標本の制作過程やその芸術性を観覧するもので、アンケート調査の結果からも、入館された多くの人に良い評価をいただいた旨の報告がなされた。

- ・令和4年度博物館冬期企画展の開催について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和4年度冬期企画展「拓くひとびとー狭山の奈良・平安ー」は、令和5年1月7日（土）から2月26日（日）までの間開催予定であり、市内の奈良・平安時代の人々がどのように暮らしていたのか、近年発掘された鳥ノ上遺跡の出土資料を中心に紹介するものである。併せて、奈良・平安時代の官人の復元衣装や墨書土器、帯金具などの律令政治下の官人に関する資料や古代の馬に関する資料が展示される旨の報告がなされた。

- ・第40回狭山市文化財防火デーに係る啓発事業について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

本事業は、主に指定文化財の管理者に対し、自主的な防火対策の励行等を目的としたポスターやチラシを作成・配布することにより、文化財の防火・防災に関する周知と意識の高揚を図るものである。市の公式ウェブサイトにはチラシを掲載するほか、ポスター・チラシを文化財の管理者のみならず、地区センターや小中学校にも配付することで住民への啓発も併せて行うおうとするものである旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、以前、文化財防火デーには各市内の寺社を順番に回って、地域の方々と消火訓練を行っていたが、それを復活する考えはあるのかとの質疑に、今年度も文化財の所有者には消火訓練についてお声がけをしたが、コロナ禍ということもあり、また、消防関係者と所有者とでの点検を行いたいという話もあり、今年度は資料の配付にとどめた旨の答弁がなされた。

委員からは、地域の方々にも文化財を守ってもらうということが重要であり、いずれの日にか消火訓練を復活させてほしい旨の意見がなされた。

- ・クロスカン トリー in Sayama 2022 の開催結果について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

今大会は、3年ぶり30回目を迎える大会であったが、新型コロナウイルス感

感染症の感染拡大防止の観点から、小学生及びファミリーの部を競技種目から外しての開催となった。1 都 9 県から 452 名のエントリーがあり、そのうち 379 名が完走し、シニア男子 60 歳以上の部では、平成 25 年の第 21 回大会以来 9 年ぶりに大会記録が生まれた。また、武蔵野学院大学陸上競技部の 4 選手を招待し、4 レースに出場してもらい大会に花を添えてもらった。運営には、狭山市スポーツ協会の実行委員を始め 123 名の協力を得、無事終えることができた旨の報告がなされた。

- ・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（教育指導課長）
（入間川学校給食センター所長）
（社会教育課長）

（要旨）

令和 4 年度第 1 回狭山市いじめ問題審議・調査委員会、令和 4 年度第 2 回狭山市立学校給食センター運営委員会、令和 4 年度第 2 回狭山市社会教育委員会会議の開催結果について、その概要の報告がなされた。

委員からの質疑等では、狭山市学校給食における PFI・PPP 等サウンディング調査結果について、7 社から意見があったとのことであるが、どのような意見があったのかとの質疑に、サウンディング調査は、事業手法に関する考え方、事業期間、業務内容、管理運営費用、その他意見・要望について調査を依頼した。事業手法としては、PFI 方式・包括委託の報告があった。事業期間については、市としては、6 年・11 年・15 年を考えていることに対して、15 年では景気が見込めず長すぎる、6 年では短すぎるとの回答があった。業務の内容については、現在の業務をそのままお願いしたいがとの問いかけに、概ね、今の状況であればできる。できれば、給食の調理のみ行いたいという意見もあった旨の答弁がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

社会教育課関係 3 件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

- ・その他

- 財政援助団体等の監査結果について

報告者（生涯学習部長）

（要旨）

本年度は、生涯学習部に関連する事業が監査対象となっており、11 月 22 日に、富士見・水野・広瀬各公民館の指定管理の管理状況について、また、指定文化財管理事業費補助金の関係で、広瀬神社と堀兼神社の文化財保護事業について書面及び実地検査が行われた。12 月 20 日には、監査結果の講評があり、

両事業とも適正に執行されており、特に、補助事業については、その効果も上がっているとの評価があった旨の報告がなされた。

議 案

議案第 45 号 狭山市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則

通学区域の指定について、北入曽 212 を「山王小学校」から「御狩場小学校」の通学区域に変更することについて、所要の改正を行うため、提案がなされたものである。

委員からの質疑等では、当該区域には、現在、小中学校に通っている児童生徒はいないということかとの質疑に、未就学児が 2 名、小学生 1 名が御狩場小学校に通学している。この小学生は、本来であれば山王小学校に通うのであるが、御狩場小学校の通学区域からこの区域に引っ越してきたため、地域指定校外ということで、引続き御狩場小学校に通っている旨の答弁がなされた。

議案第 45 号については、原案可決した。

以 上